

出産手当金請求書

組合員証	記号		組合員	フリガナ		性別	生年月日			
	番号			氏名		男・女	昭和 平成	年	月	日
個人番号 ※				※ 組合員証記号・番号を記入の場合は不要です。						
所属機関	名称				組合員の資格を取得した日		昭和 平成	年	月	日
	所在地				組合員の資格を喪失した日		平成	年	月	日
出産予定日			出産年月日			標準報酬月額	等級	円		
平成	年	月	日	平成	年					月
勤務できなかった期間						請求金額				
平成 年 月 日 から 平成 年 月 日まで						円				
請求期間						単胎又は多胎の別				
平成 年 月 日 から 平成 年 月 日まで						1. 単胎 2. 多胎(出生児数 人)				
<p>上記のとおり請求します。</p> <p>熊本市町村職員共済組合理事長 様</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>請求者 住所 (組合員) 氏名</p> <p style="text-align: right;">(印)</p>										
<p>上記の記載事項は事実と相違ないものと認めます。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>職名 所属所長 氏名</p> <p style="text-align: right;">(印)</p>										

共済組合使用欄(これより以下には記入しないでください。)

決定伺	課長	課長補佐	係長	係員
下記のとおり決定してよろしいか。				
※決定額 円				

出産手当金の額(調整前の額) = 給付日額 × 支給日数

- 標準報酬日額(A) = 掛金の標準となった標準報酬月額の22分の1に相当する金額
- 給付日額(B) = 標準報酬日額 × 2/3

算定表	標準報酬日額(A)	給付日額(B)	支給日数(C)	出産手当金(D)	調整額(E)	※ 差引支給額
	円	円	日	円	円	円
	10円未満四捨五入	円未満四捨五入	土・日曜日を除く	(B) × (C)	支給額算定調書参照	(D) - (E)



出産についての医師又は助産婦の証明書

証 明 事 項	出産した者の氏名			
	出産予定年月日	平成 年 月 日	出 産 年 月 日	平成 年 月 日
	単胎・多胎の別	1. 単胎 2. 多胎 (出生児数 人)		
	生産・死産の別	1. 生産 2. 死産	「死産」の場合、妊娠からの週数及び日数	満 () 週 () 日
<p>上記のとおり相違ないことを証明します。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>医療施設の名称・所在地</p> <p>証 明 者 医師・助産師の氏名 (印)</p> <p>TEL ()</p>				

同 意 書

<p>出産手当金の支給を受けるにあたり必要があるときは、出産手当金に関する情報について、熊本県市町村職員共済組合が、私の出産について証明した医師又は助産師に情報の提供を求めることに同意します。</p> <p>熊本県市町村職員共済組合理事長 様</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>組合員氏名 (印)</p>
--

(注) 同意書への署名押印がない場合、出産に関して共済組合が医療機関又は担当医師に確認したい情報があるときは、請求者ご自身に、直接、医療機関又は担当医師に当該情報の提供をお願いしていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

報酬支給額証明書

平成 年 月の産前産後休暇期間の給与報酬について、下記のとおり証明します。

平成 年 月 日

所属機関の長 職名
又は
給与事務担当者 氏名



印

組合員証	記号		組合員	フリガナ		標準報酬月額		当該月の勤務を要する日数A		当該月の休暇取得日数	
	番号			氏名		円		日		日	

期間		平成 年 月 分給与報酬	給与支給合計額 (給与報酬①+②)	減額された給与報酬	給与減額合計額 (減額報酬①+②)
給与報酬①		支給実績	0 円	減額実績	0 円
種別	本来の支給額				
給料月額		0 円		0 円	※給料月額の減額
合計	B1	0 円		B2	0 円
給与報酬②		支給実績		減額実績	
種別	本来の支給額				
諸手当	扶養手当			0 円	G 勤務1時間当たりの減額単価
	住居手当			0 円	H 減額対象時間
	通勤手当			0 円	I 減額給料月額
	合計	C1	0 円	C2	0 円

支給額算定調書

報酬日額	報酬①	D1 (B1÷A)	円	1日当たりの減額された報酬日額	報酬①	D2 (G×7.75h)	円
	報酬②	E1 (C1÷2.2)	円		報酬②	E2 (C2÷2.2)	円
	合計	F1 (D1+E1)	0 円		合計	F2 (D2+E2)	0 円

(注) F1~F2欄の金額に1円未満の端数が生じる場合には、端数を切り捨てた金額を記入してください。

(1) 出産手当金の日額の算定

標準報酬月額 (0) 円 × 1 / 22 = 標準報酬日額 (0) 円 (10円未満四捨五入)

標準報酬日額 (0) 円 × 2 / 3 = 給付日額 (0) 円 (円未満四捨五入) ア

(2) 給与報酬との調整額

(F1 0 円) - F2 0 円 = (0 円) (休暇1日当たりの調整額)

(休暇1日当たりの調整額) × 支給対象日数 (0 日) = 休暇期間に支払われた給与報酬 (0 円) イ

(3) 支給額の決定

給付日額 ア (0 円) × 支給対象日数 (0 日) - 調整額 イ (0 円) = 給付決定額 0 円